



LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成26年12月号



Christmas 特集①

《クリスマス・キャロル》 著者：ディケンズ 翻訳：村岡 花子。

ケチで冷酷で人間嫌いのがりがり亡者スクルージ老人は、クリスマス・イブの夜、相棒だった老マーレイの亡霊と対面し、翌日からは彼の予言どおりに第一、第二、第三の幽霊に伴われて知人の家を訪問する。炉辺でクリスマスを祝う、貧しいけれど心暖かい人々や、自分の将来の姿を見せられて、さすがのスクルージも心を入れかえた…。文豪が贈る愛と感動のクリスマス・プレゼントです。

《賢者の贈り物》 著者：O・ヘンリー 翻訳：芹澤 恵。

クリスマスのプレゼントを買うために、自分のいちばん大切な宝物を手放してしまう夫婦の愛の物語。



◆ 編集部より ◆

クリスマスの前にクリスマスの本を読んでみませんか？

『クリスマス・キャロル』の翻訳は、NHK朝の連続ドラマ小説「花子とアン」のモデルとなった村岡花子さんです。

あまりにも有名なこの2つの作品は、何度も舞台化や映画化され、絵本にもなっているので、知っている人も多いかもしれません。2作品とも百数十年も前に書かれたものです。長い間読み継がれるというのは、それだけの“価値”があるからだと思います。文豪と言われる作家の名作を読んで、感動に浸ってみませんか？



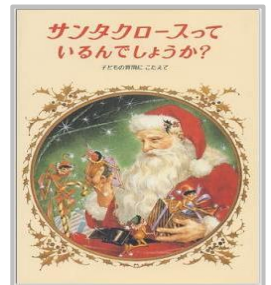
Christmas 特集②

絵本を開いて見ませんか？！

《サンタクロースって いるんでしょうか？》 作：ニューヨーク・サ新聞「社説」

絵：東 逸子 訳：中村 妙子

8歳の女の子の「サンタクロースって いるんでしょうか？」という質問に、新聞社が社説として答えてくれたという100年以上前の実話です。子供だからと侮らず、真摯に答えている姿勢。信頼や想像の大切さすばらしさを語ってくれています。大人にも一読の価値ありな素敵な絵本です！



《さむがりやのサンタ》 作・絵：レイモンド・ブリッグズ 訳：すがはら ひろくに

狭い煙突の通路に文句をいいながら、プレゼントを配達して歩くサンタのおじいさん。ほんとはちょっと気むすかしやで寒がりなんです。連続のコマ割りの絵は、大人も十分楽しめます。



◆ 編集部より ◆

童心に戻って絵本を手にしてみませんか？ かわいらしい絵にも癒されます。クリスマスプレゼントにもいいかもしれません。ポイントが上がりますよ(^_^)/

先生のおすすめ

金成 文健 先生

《神々の沈黙》 著者：ジュリアン・ジェインズ 翻訳：柴田 裕之

「春の問題」という一編の詩がある。あれこれ思案したり、ぼやいてみたり、そんな原始人と自分、つまりは読み手、をかさね、「きみは すなわちぼくで ぼくはきみなので 自画自賛はつつしみたい」と結ぶ。不思議と、春だなあ、と感じる。それはさておき、彼らとボクたちは、つながっている。母から母へ受け継がれるDNAを遡って行くと、アフリカのチンパンジーに辿り着いたようだ。

では、意識はどうだろう？ 筆者によると、人類が意識をもつようになったのは、わずか3000年前。それ以前は、右脳が聞いた神の声（自然な命令や幻聴、幻覚）に従うだけの自動人間だったという。さらに、神々の声を聞くことができたのは、1%程度。その選ばれし者が、集落のあらゆる意思決定を行い、残りの99%が黙々と従っていったという。やがて、文字や言語の発達にともない、左脳がことばを司り、右脳を抑制するようになる。抑制された右脳は、神の声を聞き取れなくなり…『イーリヤス』、『旧約聖書』など、古代世界が残したことばを手掛かりに、仮説を立証して行く。読み終わると歴史が少しかわって見える1冊。



☆生徒に一言☆

簡単に説明できるようなものに、ろくなものはない。スマホのゲーム然り、SNS然り。踊らされず、ブレないためにも、読書を忘れないください。

冬季休業中の図書館開館日

月日	曜日	学校行事等	開館時間
12/22	月	冬季休業（～1/13）	8:35 ～ 12:00
12/24	水		8:35 ～ 12:00
12/25	木		8:35 ～ 12:00
12/26	金		8:35 ～ 12:00
1/ 8	木	生徒会冬季チャレンジ企画	8:35 ～ 12:00
1/ 9	金		8:35 ～ 12:00

冬休みは無制限で
本が借りられるよ！

